

2016年度AO入試課題(経済学部・A方式)

◇ 課題の作成に当たっては別紙の注意事項に従い、作成してください。

課題

二つの課題文のうち、一つを選択してください。選択した課題文をよく読んでください。その後、その要約、近年の動向、あなたの考えなどの下記の設問に答えてください。

課題文1 増田 寛也+人口問題研究会「戦慄のシミュレーション 2040年 地方消滅。「極点社会」が到来する」 中央公論 2013年12月号 p19~23(序文 I. 三段階の「人口減少プロセス」) P27~28(II. 「極点社会」の到来のうち「人口のブラックホール現象」)

課題文2 竹中・真鍋・小野「ハバード経済学 準備体操編」日本経済新聞出版社 p155-161 (第7章 日本は世界と戦えるか 7.1 グローバル化と自由貿易)

課題文1

(1) 課題文の要約を1200字以内でまとめなさい。

(2) 社会保障人口問題研究所の地域別人口将来推計人口(平成25年3月予測)から2040年の東京都と北海道の推計人口を調べて答えなさい。また、調べた本あるいはホームページも同時に答えなさい。

キーワード：社会保障人口問題研究所、地域別将来推計人口、2040年

(3) 地方の人口が減少する背景には、人口の流れが東京一極に集中することがあげられます。これを防ぐためには、あなたはどのような方策があると考えますか。600字以内にまとめなさい。

課題文2

(1) 課題文の要約を1200字以内でまとめなさい。

(2) 財務省が公表している「貿易統計」から、2013年(平成25年)の日本の輸出総額と輸入総額を調べて答えなさい。また、調べた本あるいはホームページも同時に答えなさい。

キーワード：貿易統計 輸出総額

(3) 日本では現在TPPなどの自由貿易の推進に反対する意見も数多く聞かれます。自由貿易の問題点の中で、あなたが重要だと思うものを1つ挙げ、その問題に対してどのように対処すべきだと考えるかについて600字以内にまとめなさい。

作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもあります。

全体を通して

1. 作成に当たって、レポート用紙への記入は「手書き」でも「ワープロで作成したものを貼り付ける」のどちらでもかまいません。ワープロで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
2. 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで課題文にある内容について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも自分の言葉で書いてください。

課題に関して

3. (1) の課題において、要約とは、課題文の要点を書き出すのではなく、短くまとめることを指します。単なる書き写しではなく、できるだけ自分の言葉で 1200 字以内にまとめてください。
4. (2) の課題については設問に記されている文献かインターネットで調べてください。インターネットで調べる際には、設問の下にあるキーワードを検索サイトなどで検索すると調べることができます。調べた文献またはホームページを 6 の参考文献の記入例に沿って記入してください。
5. (3) の課題については課題文を読んで、設問に対するあなたの考えを 600 字以内でまとめてください。この設問に対する解答は一つだけではありません。自由な発想であなたが考えたアイデアとその理由をまとめてください。
6. 課題を行うに当たって用いた資料を参考文献欄に必ず記入してください。記入の仕方は以下の通りです。

(新聞の場合)『北海道新聞』2009年12月31日付朝刊

(図書の場合)平澤亨輔他著、『拓銀破綻後の北海道経済：地域再生と金融の役割』，日本経済評論社, 2008 年

(教科書の場合)『政治・経済』，三省堂

(HPの場合)環境省「環境経済成長ビジョン～チャレンジ 25 を通じた経済成長～」

<http://www.env.go.jp> (ホームページアドレスは” …… .jp” までを記入すること)

課題に関する質問の受付

7. 課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員への直接問い合わせたい場合は、第1グループ（旭川、北見、帯広、釧路）は9月9日(水)から9月11日(金)までの期間に、第2グループ（函館、青森、本学）は9月28日(月)から9月30日(水)までの期間に下記のメールアドレスに質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「AO 課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合わせ先 : htaka@sgu.ac.jp

※経済学部の高橋が対応します。大学研究室のパソコンで使っているアドレスです。携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしていると、高橋からのメールを受信できませんので設定を変更してください。